

四天王寺きたやま苑

概ね2年を経過する新型コロナウイルス感染症対策の中、リモート面会の実施、2週間毎の職員PCR検査等を継続しておりましたが、2月に特養フロアにクラスターが発生し、ご利用者及び対応する職員にも多くの感染を有し、短期入所や通所介護等施設サービスを一次停止する事となりました。この経験を今後の、事業継続計画に生かして参りたいを思います。

～事業活動報告～

- (1) 無資格未経験で基礎知識の少ない職員を多く採用しましたが、介護技術力や気づきの低下が見られ軽微な事故報告の提出も減り、十分なデータ分析と対応ができておりませんでした。その中、ZOOMやDVDを活用した研修を実施したり、職員用の図書コーナーを充実させ学ぶ姿勢を定着させ、少しずつ技術の向上を図って参りました。デイサービスにおいては、科学的介護推進加算、機能訓練加算Ⅱを新たに取得し、機能訓練プログラムの見直しを行い、サービスの向上に繋げる事ができました。
- (2) 職員の自己向上の意欲を維持する為に「KAIZEN活動報告会」を継続し、生け花やアクセサリ作り、趣向に合わせた食事同好会等様々な活動を通じて職員の能力を活用できる機会を増やしました。また、ZOOMにて職員のご家族を招待し職員参観を実施し20名の参加があり、職員ご家族の職場への理解を深める活動を行いました。飲食を伴う職員親睦会の代わりに、卓球大会やテレビゲーム大会等で職員の親睦を深める活動も併せて行っております。
- (3) 感染症や災害に対する事業継続計画が未だ作成できておらず、特に感染症のBCPについては、不足しがちな抗原検査キットや防護服等の備蓄整備し、体制を整えながら実践で活用できる計画作りを進めて参りたいと思います。

～改善活動～

- (1) 次年度の見守り機器の導入に向けて、新しい情報を収集しております。感染症クラスターの発生で活動が停滞してしまいましたが、今後に繋げていきます。
- (2) 大学の授業時間を利用しZOOMにて交流会、近隣保育園からは敬老ビデオレターを頂き、喫茶ボランティアは、LINEビデオにてICTを活用しながら外部との利用者交流を行っております。ご利用者家族に対してもLINEを活用し日常のご様子の写真をお送りしたり、YouTubeを活用し、行事の動画配信を行い新しい関係を築いております。